

(最終) JICAJPP 業務達成状況報告書 (2020年12月31日現在)

業務達成状況報告書				
1. 事業名 (対象国名)	インドの農村地域における糖尿病予防・改善プロジェクト			
2. 事業実施団体名	特定非営利活動法人 インド福祉村協会			
3. 事業実施期間	2018/2/1 ~ 2021/7/31			
プロジェクト要約 (Project Summary)	指標 (Indicators)	基準値 (Baseline Values for Indicators)	目標値 (Target Values for Indicators)	達成状況 (Progress)
上位目標 (Overall Goal) 対象農村地域の住民が糖尿病に対する知識を身につけ予防していることで健康が維持され、より豊かな生活を送ることができる。				
プロジェクト目標 (Project Purpose) 対象農村地域の住民が糖尿病予防の知識を身につけ、自ら生活習慣の改善に取り組めるようになる。	1. 農村地域の住民を訪問し予防、改善を教育する	農村地区部落を訪問し予防、教育を、家族、家長に本活動をする。	900名	2020年12月31日現在 2337家族約6000名 達成
	2. 各農村地域に巡回指導員が配置育成される。	アーナンダ病院の職員指導者が部落内で糖尿病指導できる人	14名	2020年12月31日現在 14名 42回訪問 達成
アウトプット (Output) 1. 対象農村地域の住民がアーナンダ病院において、糖尿病予防について学んだり、適切な糖尿病治療を受けたりできるようになる	1-1. 対象農村地域の住民〇名がアーナンダ病院職員による栄養改善指導・糖尿病予防教室を1回以上受けたことがある	①アーナンダ病院での指導を受けた村民の数: ②アーナンダ糖尿病教室で糖尿病教室を開設	①3000名 ②10回、200家族	①村民の数 810名 高血糖者87名 ②糖尿病教室室 10回開催 242家族 達成
	1-2. アーナンダ病院を受診する糖尿病患者が20%増加する	本活動により自主的に糖尿病検査を受けた村民のうち、糖尿病と判定され、アーナンダ病院で受診をした村民の割合	自由にアーナンダ病院を受診 血糖検査を受ける	2020年12月31日現在810名 そのうち高血糖者87名 達成

	1-3. アーナンダ病院を受診する重症糖尿病患者が 20%増加する	本活動により自主的に糖尿病検査を受けた村民のうち、重症糖尿病と判定され、アーナンダ病院で受診をした村民の割合	20%UP	2020 年末時点割合は不明ではある、1-2 含め活動前と比較し、糖尿病の患者の受診は30%増えており、確実に成果があったと評価している。達成
2. 対象農村地域の住民が巡回指導員による巡回指導を受けられるようになる。	2-1. 各村延べの対象農村地域住民が巡回指導を受ける	巡回指導を受けた農村地域住民の数：	4500名	2020年12月31日現在約6000-7000名 達成
3. 事業終了後も継続的に巡回指導・栄養改善指導・糖尿病教室が行われる実施体制が整備される	3-1. 7名の巡回指導員が育成される	巡回指導員の数：	14名	2020年12月31日 14名のべ訪問指導員) 達成
	3-2. 栄養改善指導・糖尿病教室の講師が育成される	育成された講師の数	7	2020年12月31日 7名 達成

モニタリング報告

1. 当期発生した問題

- ・インドのコロナウイルス発生のため中断期間があった。2020年4月～9月3年以内で、目的どうりの達成は

2. 案件実施の意義を具体的に伝えられるエピソード

- ・前期同様、現地の巡回指導は、こちらが想定していたよりも多くの回数、充実した内容が実施されており、自主的に血糖値検査に訪れた住民の割合も全体の15%と多く、さらに高血糖と判定された人がアーナンダ病院で受診をする割合も非常に高い。
- ・本プロジェクト活動前と比較し、糖尿病患者（含む予備軍）がアーナンダ病院を受診する割合が30%増加している。受診した患者には改善に向けたモチベーションUPができるよう糖尿病治療経過手帳を配布する計画をしている。

JICA コメント（在外事務所）

（国内機関）
インド福祉村協会